

平成30年度 自己評価表の公表

《集計表》

		チェック項目	取組状況・改善目標	はい	どちらともいえない	いいえ
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	小集団での活動やお集まりなど適切な空間となっている。安全面での配慮としては机や椅子での転落やケガ等に注意が必要。	7	0	0
	2	指導員の配置数は適切であるか	配置基準より多くの職員を配置している。見守りや支援の必要性の高い子どもについてはグループ編成や職員を多く配置して支援するなどの対応を行っている。	7	0	0
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	視覚的な支援も取り入れ、杖や椅子以外何もない空間となっている。	7	0	0
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	小集団での活動やお集まりなど適切な空間となっている。他害、多動、奇声などの障害特性がある子やパニックになった時に落ち着ける静養室を使用して対応している。	7	0	0
業務改善	5	業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	職員全員での会議やミーティングが難しい状況であるため、全職員の参画を図ることはできていない。参加できない職員には議事録を確認するなど周知や業務改善へ全職員に伝達している。	7	0	0
	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	これまで保護者向けの評価表は利用したことがなかった。保護者の意見には様々な情報交換の中で真摯に耳を傾け、業務改善につなげている。	7	0	0
	7	この自己評価の結果を、ホームページ等で公開しているか	今回からホームページを利用して公開する。	4	0	3
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者による外部評価については今後検討していく。	2	2	3
	9	職員の資質向上のため、研修の機会を確保しているか	県や市からご案内頂いた研修には可能な限りは参加している。毎月の法人内研修には積極的に参加できている。参加できなかった職員については後日、ビデオ研修での参加をとっている。	7	0	0
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	利用開始時と半年ごとにアセスメントを行っている。今後は適切にアセスメントを行い、個別支援計画書作成に活かしていきたい。	6	0	1
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	半年に1度評価を行い、特性や状態把握につなげている。	7	0	0
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」「発達支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	児童発達支援管理責任者が統括する中で、保育士、児童指導員、作業療法士、音楽療法士の多職種の職員が関わりながら活動プログラムの立案と実施に当たっての準備を行っている。	7	0	0
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	児童発達支援管理責任者が統括する中で、保育士、児童指導員、作業療法士、音楽療法士の多職種の職員が関わりながら活動プログラムの立案と実施に当たっての準備を行っている。	7	0	0
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	児童発達支援管理責任者が統括する中で、保育士、児童指導員、作業療法士、音楽療法士の多職種の職員が関わりながら活動プログラムの立案と実施に当たっての準備を行っている。	7	0	0
	15	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	毎月の行事や季節に合わせて工夫してプログラムを作成し、1か月分のプログラム表を利用者へ掲示している。	6	0	1
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	小集団と大集団活動(活動プログラム)を時間配分し、日々組み合わせている。子どもの関わり方(支援、声かけ、見守り)については組織的かつ計画的にその方法を決定し、職員全員に周知している。	7	0	0
	17	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日の支援内容や役割分担を確認しているか	毎日ミーティングを行い、参加できなかった職員には議事録で確認してもらっている。その日の現場状況により役割分担を行っている。その日の責任者を決めて、支援内容や役割分担の情報共有に努めている。	7	0	0
	18	支援終了後職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	毎日支援終了時にミーティングを行い、参加できなかった職員には議事録で確認してもらっている。また、関わった職員が日々の活動記録表に記入し、支援の振り返り気づいた点を共有している。	7	0	0

		チェック項目	取組状況・改善目標	はい	どちらともいえない	いいえ
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	利用者一人ひとりの活動記録を、その日関わった職員全員で記録し、情報共有できる体制をとっている。	6	0	1
	20	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6ヶ月に1回は実施。	7	0	0
	21	相談支援事業所の担当者会議にその子どもの状況に精通した最も相応しい者が参画しているか	担当者会議の日程に合わせて児童発達支援管理責任者またはクラス担任が参加するようにしている。	7	0	0
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	関係機関との連携については児童発達支援の受け入れ状況や就園、就学についての相談など行っている。ご案内を頂ければ研修にも参加している。	6	0	1
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	関係機関との連携については児童発達支援の受け入れ状況や就園、就学についての相談など行っている。ご案内を頂ければ研修にも参加している。	7	0	0
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等との連絡体制を整えているか	関係機関との連携については保護者を通じて情報を共有するなど連絡体制を整えているようにしている。	7	0	0
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	関係機関との連携についてはケース会議や保護者を通じて情報を共有するなどしている。	6	0	1
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	関係機関との連携についてはケース会議や保護者を通じて情報を共有するなどしている。	6	0	1
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	児童発達支援協議会主催の研修や発達障がい者支援センター主催の研修については積極的な参加を行っている。また、研修内容については資料など回覧して職員へ情報共有している。	7	0	0
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在保育園や幼稚園等との交流する機会はないが、法人内の放課後等デイサービスや高齢者の方と定期的に交流会する機会がある。	0	0	7
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	児童発達支援協議会主催の研修については積極的な参加を行っている。また、研修内容については資料など回覧して職員へ情報共有している。	2	0	5
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	子どもの状況を必要に応じて伝え合っている。担任が連絡ノートの記録、送迎時の面談等で情報共有を図る仕組みもできているが、課題について共通理解をもつに至ってはいない。今後は課題とその解決方法を共有する意識をもって情報共有を図っていきたい。	6	0	1
	31	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	保護者からの相談事は聞き入れ返答しているが家族支援プログラムまでは出来ていない。平成31年5月から実施予定で現在準備中。	2	0	5
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	利用契約の締結時には、利用規約、運営規程、支援の指針と具体的な内容、利用者負担額や上限額管理の仕組みと利用方法、パンフレットを用いた具体的な利用方法まで丁寧に説明を行っている。	7	0	0
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	個別支援計画作成後、保護者へ支援内容の説明、確認をとり同意を得ている。	7	0	0
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	ご相談頂ければ全て真摯に対応している。担当者一人では適切な助言が出来ない場合は、事業所として適切な回答を模索した上でアドバイスをお返している。今後も一部の職員だけでなく全職員で共有を図っていくことや具体的な助言、支援ができるように努める。	7	0	0
	35	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	家族会のみでなく保護者会等の場が必要だと思う。	4	0	3
	36	子どもや保護者からの申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	迅速かつ適切を旨として苦情対応にあたっている。	7	0	0
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡調整等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	迅速かつ適切を旨として苦情対応にあたっている。	7	0	0

		チェック項目	取組状況・改善目標	はい	どちらともいえない	いいえ
	38	個人情報に十分注意しているか	利用契約時に個人情報使用同意書の説明を行い、写真の掲示に関しても同意を得ている。個人情報が記載されている文書の廃棄にはシュレッターを使うなど、個人情報の取扱には注意している。	7	0	0
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	配慮しているが、情報伝達が受身になっている点は否めないと思う。保護者からの情報発信がない場合でも、事業所として積極的に相互コミュニケーションを取るべく配慮や環境づくりをとっていきたい。	7	0	0
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現在は地域住民を招待する機会はない。	3	0	4
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	保護者に対しては周知できていない。今後は利用契約時やモニタリング等の機会を見つけてご説明したい。	7	0	0
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	毎月定期的に地震や火災を想定した避難訓練を実施している。	7	0	0
	43	事前に、服用や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	利用開始前に身体、精神状態の把握、予防接種状況等現況調査票を用いている。また、小児精神科医の診察を受けていただき利用につなげている。	7	0	0
	44	アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	指示書、保護者の申告に基づいて対応している。但し、常に医師の指示書の提出を求めているので、保護者からの指示や事業所としての調査に基づいて対応している。	7	0	0
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	共有している。但しどのようなケースが事例集に載せるケースにあたるのか、その基準が個人の判断に任されているので、基準を明確にする必要がある。	5	0	2
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待防止に関する研修会への参加を行っている。また、虐待につながる「不適切な処遇行為」及び「勤務中の態度」に係るチェック表を用いて定期的に行い、改善を図っている。	7	0	0
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うのかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	身体拘束の必要性が低い利用者ばかりで、そのことを事業所内で議論する必要性が乏しいのが現状である。虐待防止上必要とされる身体拘束の3原則を今一度全職員で確認したい。	7	0	0